

サーキットの連続周回でも変わらない性能とフィーリング

■プロト
TEL0566-36-0456
http://www.plotonline.com/

PLOT NEOPLOTEX F エンジンオイルシリーズ

価格▶9975~1万920円(4.5ℓ缶)

ターボ/NAそれぞれで
大井貴之がフィーリングチェック

テスト車両はオートプロデュースA3の協力で、ノーマルエンジンのBRZとGDBのエンジンが移植されたデモカーのエクシーガを使用し、NA、ターボでそれぞれテスト。同日に複数台のハチロクを試乗したこともあり、BRZのエンジンフィーリングが印象的だったという

NEOPLATEX F エンジンオイル

グレード	粘度	油量	価格(税込み)
S	2.5w-40	1ℓ	2835円
		4.5ℓ	9975円
		20ℓ	4万4100円
H	7.5w-40	1ℓ	2835円
		4.5ℓ	9975円
		20ℓ	4万4100円
R	10w-50	1ℓ	3150円
		4.5ℓ	1万920円
		20ℓ	4万8300円

■取材協力:オートプロデュースA3
大阪府岸和田市稲葉町216-5
TEL 072-479-2760 http://www.apa3.jp/

謳われている美点を
サーキットでチェック

前号でも紹介しているプロットの「ネオプロテクスFエンジンオイル」。化学合成油だが、添加剤で性能を出すのではなく、高品質なベースオイルの採用によって求める性能を実現したオイルシリーズである。従来とは異なる4.5ℓ缶を主体としたラインアップや、0Wや5Wなど低粘度オイルが指定された車両での使用を見越した2・5Wや7・5Wといった粘度設定など、使ってみたくなる要素はいろいろあるが、興味を引かれるのはやはり、このオイルの特性として強く謳われている「体感できるレスポンス」という部分だろう。加えて、「劣化が少なく交換時のフィーリングが長続きする」という点も大いに気になるところだ。そこで、それが本当に違いを体感できるものなのかと、大井貴之をテストターに鈴鹿サーキットでテストを行った。

テスト車両はオートプロデュースA3のBRZと、GDBのエンジン、ミ

ッションなどが移植されたエクシーガの2台。なお、使用したのはNAのBRZに「7・5W-40」、ターボのエクシーガには「10W-50」。テスト直前に交換し、鈴鹿まで自走。試乗前にそれぞれ数ラップずつ走行した状態でテストを行った。

試乗から戻った大井レポートは「ピットアウトしていくときに『このクルマ(BRZ)はやけにエンジンが元気がいいな』と感じた。ほかにもノーマルエンジンのハチロクを何台も試乗したが、このBRZのエンジンのシャキッととしたレスポンスと、調子のいい感じはとりわけ印象的だった。オイルのマッチングはよさそうだと感じた。走行中のフィーリングの変化については、どちらの車両でもまったく感じられなかった」とコメント。美点であるレスポンスを体感できたという。テスト車両のBRZは排気系はもちろん、ECUもノーマルだから、良好なフィーリングはオイルの効果と考えてよさそうだった。

油圧については、テスト車両に油圧計が装着されていなかったためチェックできなかったが、プロットの社内テストでは、70周およびサーキットの連続周回でも6kg/cm²をキープ。気温の高い時期でもそれに近い数値を維持できるとのことなので、機会があればそれもチェックしてみたいところだ。

スバル車はメタルの当たりがキツく、オイルに求められる要求も高いというが、テスト当日は、パーツ開発やテストのための走行が試乗の前後にも続けられていたが、「変化しないフィーリング」の効果もあり、安心感を持ってテストが続けられたという評価があったことも追記しておく。